

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	治療論概説Ⅱ（リハビリテーション） 1単位 15時間		
開講時期	1年次 後期		
担当教員	兵永志乃・中川貴博・杉山稔子	実務経験	有
科目のねらい・到達目標 リハビリテーションの概念と技術を理解する。			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. リハビリテーションの定義と概念 2. リハビリテーションの分野 3. リハビリテーション医療の提供 4. リハビリテーションの看護概論 5. 疾病・障害・生活機能の分類 6. リハビリテーションの種類と特徴	講義・演習（兵永） 理学療法士	
2回目	1. リハビリテーションの実際 (1) 理学療法総論 (2) 整形外科疾患に対する理学療法	講義・演習（兵永）	
3回目	1. リハビリテーションの実際 (3) 脳血管疾患に対する理学療法 (4) 循環器疾患に対する理学療法 (5) 呼吸器疾患に対する理学療法	講義・演習（兵永）	
4回目	1. リハビリテーションの実際 (1) 作業療法の定義（総論） (2) 脳血管疾患に対する作業療法	講義・演習（中川） 作業療法士	
5回目	1. リハビリテーションの実際 (3) 高次機能障害に対する作業療法 (4) 自助具を考えてみよう (5) 整形外科疾患に対する作業療法	講義・演習（中川）	
6回目	1. リハビリテーションの実際 (1) コミュニケーション障害について ①失語症 ②構音障害	講義・演習（杉山） 言語聴覚士	
7回目	1. リハビリテーションの実際 (1) 摂食嚥下障害	講義・演習（杉山）	
8回目	終了試験		
評価方法	筆記試験 兵永（40%） 中川（30%） 杉山（30%）		
受講生に対するメッセージ	解剖生理を復習し、それぞれの臓器の正常な機能を理解して、講義に臨んでほしい。また、患者像を捉える際、医療的知識だけでなく、社会的背景をくみ取れるようリハビリテーションの概念を学んでほしい。		
テキスト	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院		
参考書			